

外国語活動 学習指導案

学校名 三次市立甲奴小学校
授業者 T1 外国語担当 信田 育実
T2 ALT Jason Keane

- 1 日時 平成30年10月2日(火)第5校時
2 学年 第6学年 15名
3 単元名 Unit 5 My Summer Vacation 夏休みの思い出 (We Can 2 Unit5)

4 単元について

- 本単元は、夏休みや修学旅行の思い出について伝え合う言語活動に取り組むことで、過去形を無理なく自然に活用できるようになることをねらっている。

新学習指導要領では、高学年において、動名詞や過去形のうち、活用頻度の高い基本的なものを含むものを扱うこととしている。しかし、文から過去形を取り出してその使い方を説明したり、理解させたりはしない。中学校の外国語科において、「文法事項」として扱い、使い方の理解を深めていく。

上記を踏まえて、本単元では、過去の表現が分かり、夏休みや修学旅行に行った場所、楽しんだこと、感想などについて伝え合ったりすること、また、それらについて書かれたものを読もうとしたり、話したことを書こうとしたりすることを目標としている。

- 本学級の児童は、第1学年から英語活動を行ってきた。昨年度からは、週に2時間の外国語活動を実施し、新学習指導要領の先行実施を行っている。これまで、どの単元においても単元ゴールを明確に設定し、必然性のある学習活動を仕組んで指導してきた。1学期は、アメリカス市からの訪問団を迎えるにあたり、自己紹介や日本の紹介をすることや語順に気付くためのクイズ大会を経験している。

9月末に行ったアンケートでは、「外国語活動の授業に進んで参加しています」の項目に全員が「とてもあてはまる」と回答をし、外国語活動への学習意欲が高いことがうかがえる。

また、書くことに関しては、前年度の外国語活動から取り組んでおり、文字を書く練習、4線の上で単語をなぞったり手本を視写したりする活動等を段階的に取り入れてきた。多くの児童が、4線の使い方、語と語の間はスペースを空けて書くこと、一つの単語は文字と文字とを近づけて書くこと等に慣れてきている。しかし、まだこれらに十分に慣れていない児童もいるため、書く活動の際は、留意点を必ず告げるようにしている。

- 指導にあたっては、単元全体を8時間で扱うが、はじめの6時間を夏休みの思い出を題材として活動を進め、第1段階のゴールとして、夏休みの思い出を互いに紹介し合う活動を行う。残りの2時間は、それまでに学習した表現を使って、修学旅行の思い出を表現する活動を行う。

しかし、修学旅行の思い出を題材にすると、全員が同じ場所に行き、同じようなことを経験しているので、互いの思い出を尋ね合う必然性に欠ける。そこで、修学旅行先である京都や奈良に興味のあるALTに、自分たちが経験したことを報告するという課題を設定することで、相手意識をもって思い出を紹介することができるようにする。また、昨年本校に勤務していたALTが手紙を書ってくれたので、修学旅行の思い出を文章にして返信するという課題も加え、書くことへの意欲へとつなげたい。一度にたくさんの文を書くことになるが、グループで分担することや、あらかじめ、修学旅行の思い出について話を聞き取り、児童が書こうとすると予想される単語をリストにしておくことで、書くことが苦手な児童も安心して取り組むことができると考

える。

過去の表現に気付かせる手立てとしては、指導者の話を聞かせる際にカレンダーの過去の日付を指し示したりするなど、以前の話を話していることが分かるように工夫する。また、過去形が初出であることから、児童にとって難易度が高くなるように、扱う過去に関する言語材料は、went, ate, saw, enjoyed, was のみとし、毎時間一つずつ新しい言葉に触れるようにする。

そして、「聞くこと」「話すこと」の言語活動に取り組み、音声で十分に慣れ親しませたあと、「読むこと」「書くこと」に毎時間少しずつ慣れ親しむことができるようにする。

5 単元の目標

- ・進んで、体験したことについて伝え合おうとする。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・過去に行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを表す表現に慣れ親しむ。また、体験したことについて簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に書いたりすることに慣れ親しむ。【外国語への慣れ親しみ】
- ・英語の過去の表し方に気付く。【言語や文化に関する気付き】

6 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
○進んで、体験したことについて伝え合おうとしている。	○過去に行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを表す表現に慣れ親しんでいる。また、体験したことについて簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に書いたりすることに慣れ親しんでいる。	○英語の過去の表し方に気付いている。

7 使用表現・語彙

【主な使用表現・語彙】

I went to (my grandparents' house). I enjoyed (fishing). I saw (the blue sea).

I ate [ice cream]. It was [fun /exciting /beautiful /delicious].

grandparent, vacation, zoo, 動詞の過去形 (went, ate, saw, enjoyed, was), 自然 (beach, mountain, sea, lake, river), 動作 (hiking, camping, fishing)

【繰り返しの使用表現・語彙】

we, my, it, sea, スポーツ, 果物・野菜, 飲食物, 季節, 動作, 身の回りの物, 状態・気持ち

8 単元計画 (8時間)

時	目標 (◆) と主な活動	評価			表現例
		コ	慣	気	
課題との1	◆過去のことを表す表現 (I went to ~.) に気付き、夏休みに行った場所を伝え合う表現に慣れ親しむ。		○	○	・英語の過去 (行った場所) の表し方に気付いている。 I went to ~.

出会い	<ul style="list-style-type: none"> ○指導者のやり取りを聞き，単元の前半のゴール（夏休みの思い出紹介）を把握する。 ○【Let's Listen 1】 ○場所を表す言葉を知り，ゲームで慣れ親しむ。【Let's Play】 ○互いに夏休みに行った場所について伝え合う。 			<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに行った場所を表す表現に慣れ親しんでいる。 	
情報の収集	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆夏休みに行った場所の感想を伝え合う表現(It was ~.)に気付き慣れ親しむ。 ○映像を見て，どんなことが話されているかに気付く。【Let's Watch and Think 1】 ○感想や状態を表す言葉を知り，慣れ親しむ。 ○夏休みに行った場所とその感想を伝え合う。 ○夏休みに行った場所と感想をワードリスト等から選んで書く。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の過去（感情・様子）の表し方に気付いている。 ・夏休みに行った場所や感想などを表す表現に慣れ親しんでいる。体験したことについて書かれた英語を推測しながら読んだり，例を参考に書いたりすることに慣れ親しんでいる。 	I went to ~. It was ~.
整理・分析	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆夏休みに楽しんだことを伝え合う表現 (I enjoyed ~.) に慣れ親しむ。 ○【Let's Chant】 ○映像を見て，どんなことが話されているかに気付く。【Let's Watch and Think 1】 ○楽しんだ事とその感想のマッチングゲームをする。 ○夏休みに行った場所，したこと，その感想を伝え合う。 ○夏休みにしたこととその感想をワードリスト等から選んで書く。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の過去（したこと）の表し方に気付いている。 ・夏休みにしたこと，感想などを表す表現に慣れ親しんでいる。それについて書かれた英語を推測しながら読んだり，例を参考に書いたりすることに慣れ親しんでいる。 	I went to ~. I enjoyed ~. It was ~.
創造	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆夏休みに行った場所で見たものを伝え合う表現(I saw ~.)に気付き慣れ親しみ，夏休みのことを文章にして伝えようとする。 ○【Let's Chant】 ○登場人物が夏休みの思い出について話していることを聞き，誌面の絵から選ぶ。【Let's Listen 2】 ○夏休みに見たことの表現に気付き，ゲームで慣れ親しむ。 ○ディスティニーゲームをする。 ○夏休みに見たものとその感想をワードリスト等から選んで書く。また，どの順で思い出紹介をするのかを考え，これまで書き溜めた文にナンバリングをする。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の過去（食べたもの）の表し方に気付いている。 ・夏休みに食べた物，感想などを表す表現に慣れ親しんでいる。それについて書かれた英語を推測しながら読んだり，例を参考に書いたりすることに慣れ親しんでいる。 	I went to ~. I enjoyed ~. I ate ~. It was ~.
実	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆夏休みに行った場所で食べたものを伝え 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の過去（見たもの）の表し 	I went to ~. I saw ~.

行 振り 返り		<p>合う表現 (I ate ~.) に気付き慣れ親しむ。</p> <p>○ 【Let's Chant】</p> <p>○ 音声を聞いて、誌面にある登場人物と絵を線で結ぶ。【Let's Listen 3】</p> <p>○ 食べたものと味覚のマッチングゲームをする。</p> <p>○ 夏休みに行った場所、したこと、食べたもの、その感想などを伝え合う。</p> <p>○ 夏休みに食べたものとその感想をワードリスト等から選んで書く。</p>			<p>方に気付いている。</p> <p>・ 夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを表す表現に慣れ親しんでいる。それについて書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に書いたりすることに慣れ親しんでいる。</p>	<p>I enjoyed ~.</p> <p>I ate ~.</p> <p>It was ~.</p>
	6	<p>◆ 進んで、夏休みのことを伝え合おうとする。(カードを並べたものを参考にやり取りをし合う)</p> <p>○ ディスティニーゲームでウォームアップをする。</p> <p>○ 【Let's Read and Watch】</p> <p>○ ワードカードを並べ替え、自分の夏休みの思い出を文章にする。</p> <p>○ グループで夏休みの思い出について伝え合う。</p>	○		<p>・ 進んで、夏休みに体験したことについて伝え合おうとしている。</p>	<p>I went to ~.</p> <p>I saw ~.</p> <p>Do you know ~?</p> <p>I enjoyed ~.</p> <p>I ate ~.</p> <p>It was ~.</p> <p>I like ~.</p> <p>Me too.</p>
新 た な 課 題 実 行	7 本 時	<p>◆ 修学旅行のことを伝え合い、伝える文を書き溜めたものを参考に書いて過去の表現に慣れ親しむ。</p> <p>○ ディスティニーゲームをする。</p> <p>○ 指導者の話を聞き新たな課題を把握する。</p> <p>○ 修学旅行についてグループでやり取りをしながらカードを並べていく。</p> <p>○ 並べたカードを参考に、Adrian 先生に修学旅行の思い出を伝える文を書く。</p>		○	<p>・ 修学旅行に行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを表す表現に慣れ親しんでいる。体験したことについて例を参考に書いたりすることに慣れ親しんでいる。</p>	<p>We went to ~.</p> <p>We saw ~.</p> <p>We enjoyed ~.</p> <p>We ate ~.</p> <p>It was ~.</p>
	8	<p>◆ 進んで、ALT に修学旅行の思い出について伝えようとする。(ALT に伝える。)</p> <p>○ 前回書いたセンテンスカードを集め、グループで文の順番を考えながら文章にする。</p> <p>○ できた文章を読む。</p> <p>○ グループで発表をし、ALT に伝える。</p> <p>○ 文章を台紙に貼り、文集用の原稿を完成させる。</p>	○		<p>・ 進んで、修学旅行で体験したことについて伝え合おうとしている。</p>	<p>We went to ~.</p> <p>We saw ~.</p> <p>We enjoyed ~.</p> <p>We ate ~.</p> <p>It was ~.</p> <p>Look. This is ~.</p>

9 本時の学習

(1) 本時の目標

- 修学旅行に行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを表す表現に慣れ親しむ。また、体験したことについて例を参考に書くことに慣れ親しむ。

【外国語への慣れ親しみ】

(2) 本時の評価規準

- 修学旅行に行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを表す表現に慣れ親しんでいる。また、体験したことについて例を参考に書くことに慣れ親しんでいる。

(3) 準備物

(4) 学習の流れ

過程	児童の活動	教師の支援		指導上の留意点等 ◆評価
		T 1	T 2 (ALT)	
導入	① (帯活動) 挨拶をする。 ・学習リーダーが中心となってやり取りを進める。 ・Small talk 秋の食べ物	○挨拶をする。 “Hello! How are you?”	○Greeting “Good afternoon, class.” “I’m fine, thank you.”	・児童同士のやり取りでは、聞き返す、反応するなどして会話が長くよう意識をさせる。
	② 既習の復習としてディスティニーゲームをする。	○ゲームをセットアップする。	○Destiny game	
展開	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> (発話例) T: I went to the mountain. S1: I enjoyed hiking. (カードを出す) S2: It was exciting. (カードを出す) S3: I saw a great view. (カードを出す) S1: I ate obento. (カードを出す) S2: It was good. (カードを出す) </div>			
	③ 指導者の Small Talk を聞く。	・最後に I went to Kyoto. という題を出し、修学旅行の話へつなげる。 ○主語を We にして話をすることに気付かせる。また、書くことの必然性をつかませる。	○Small Talk	・ジェスチャーを付けたり写真を示したりしながら視覚的な情報を与えることで児童の意味理解を助ける。 ・何人かの児童に指名してやり取りをしていくうちに、児童の理解が深まるようにする。 ・児童の言い間違いは指摘するのではなく、指導者が正しく言い直して聞かせることで気付かせる。 ・キーワードとなるものを板書しておき、児童が文を書く際の見本となるようにしておく。 ・We enjoyed, We saw. We ate に続く語も出さしておく。 ・事前に Adrian 先生にお願いしておく。
	④ 本時の活動の見通しを持つ。	・Adrian 先生に修学旅行について書いて教えてあげるといふ必然性をもたせる。		
	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 【めあての設定】 修学旅行の思い出を Adrian 先生に届けよう。 </div>			

まとめ	<p>⑤ 3人組で修学旅行の思い出を思い起こしながら、ワードカードを並べて、文を作っていく。 ・書く内容を決める。</p>	<p>○ワードカードを配り、グループで思い出をやり取りしながらカードを並べて文を作るデモンストレーションを見せる。</p>	<p>○ Ordering the words ・ Demonstration ・ Support SS</p>	<p>◆ 修学旅行に行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを表す表現に慣れ親しんでいる。</p>																							
	<p>(表現例)</p> <table border="1"> <tr><td>We</td><td>went to</td><td>Todaiji Temple</td><td>.</td></tr> <tr><td>We</td><td>saw</td><td>the giant Buddha</td><td>.</td></tr> <tr><td>It</td><td>was</td><td>great</td><td>.</td></tr> <tr><td>We</td><td>enjoyed</td><td>shopping</td><td>.</td></tr> <tr><td>We</td><td>ate</td><td>Shika-no-fun chocolate</td><td>.</td></tr> <tr><td>It</td><td>was</td><td>sweet</td><td>.</td></tr> </table> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-left: 100px;">行った場所や食べたもの、見たもの、感想などの目的語、補語は、リストの中から選んで○を付ければ良いようにしておく。</p>				We	went to	Todaiji Temple	.	We	saw	the giant Buddha	.	It	was	great	.	We	enjoyed	shopping	.	We	ate	Shika-no-fun chocolate	.	It	was	sweet
We	went to	Todaiji Temple	.																								
We	saw	the giant Buddha	.																								
It	was	great	.																								
We	enjoyed	shopping	.																								
We	ate	Shika-no-fun chocolate	.																								
It	was	sweet	.																								
<p>⑥ 並べたカードを参考に、Adrian 先生に修学旅行の思い出を伝える文を書く。 ・どの文を書くか役割分担をする。</p> <p>⑦ 本時の振り返りをする。</p> <p>⑧ 挨拶をする。 ・学習リーダー</p>	<p>○ センテンスシートを配り、ワードカード並べたものを書き写すことを伝える。 “Please copy the cards.”</p> <p>○ 振り返りを書くよう伝える。</p> <p>○ 挨拶をする。 “Good-bye. See you!”</p>	<p>○ Writing ・ Support SS</p> <p>○ Reflection</p> <p>○ Greeting “Good-bye. See you!”</p>	<p>◆ 体験したことについて例を参考に書くことに慣れ親しんでいる。</p> <p>・ 次時にグループでセンテンスカードを並べ、文の順序を考えながら文章にすることを予告する。</p>																								

(5) 板書計画

October 2th (Tue.) ⑤ 修学旅行の思い出を Adrian 先生に手紙で伝えよう。

	絵カード						
I	went to						
I	enjoyed						
I	saw						
I	ate						
It	was						

修学旅行

法隆寺	東大寺
薬師寺	金閣寺
清水寺	映画村